

大学誘致の進捗状況等について

1 将来施設用地の貸付けについて

(1) 貸付内容

所 在	墨田区文花一丁目1番30、1番31及び1番32
地 積	4,032.31㎡
貸付方法	一般定期借地権設定契約(50年)
適正価額	月額 2,370,000円
減額率	5割
貸付予定額	月額 1,185,000円

(2) 減免の考え方

貸付予定先である学校法人電子学園は公共的団体であり、当該用地に情報経営イノベーション専門職大学の付帯施設「すみだメディアラボ(仮称)」を建設することとしている。区内企業・団体との連携を図るなど、地域の活性化に貢献するものと期待でき、公共性が高いと判断されるため、貸付料を5割減額する。

2 旧すみだ中小企業センターの貸付けについて

(1) 貸付内容

所 在	墨田区文花一丁目19番1号(住居表示)
床面積	延べ9,447.77㎡
貸付方法	一棟一括の定期建物賃貸借契約(30年)
適正価額	月額 22,933,020円(消費税込)
減額率	9割
貸付予定額	月額 2,293,302円(消費税込)

(2) 減免の考え方

貸付予定先である国立大学法人千葉大学は公共的団体であり、キャンパス開設に伴い、区内企業・団体との連携を図るなど、地域の活性化に貢献するものと期待でき、公共性が高いと判断される。また、以下の事由を勘案し、貸付料を9割減額する。

ア 地域開放スペース

施設1～2階は地域開放スペースとして区民に広く開放されることとなっている。また、UDCすみだ(仮称)の活動拠点となる予定である。

イ 国立大学特有の事情

国立大学は授業料収入を利益にできない仕組みになっていること、本施設の運営に関し文部科学省からの補助等が見込めないことから、区として同大学の安定的な運営を支援する必要がある、また、近隣区における国立大学誘致の実績を勘案した。

さらに、同大学は全10学部を有する国内屈指の総合大学であり、デザイン・建築だけでなく、幅広い分野における区内企業等との共同研究が期待できる。

3 千葉大学墨田サテライトキャンパスについて

(1) キャンパス名称について

「千葉大学デザイン・建築スクール(仮称)」としていた施設名称については、同大学側から「千葉大学墨田サテライトキャンパス」として正式に決定したとの報告がなされた。

(2) 実施カリキュラムについて

千葉大学墨田サテライトキャンパス開設後は、千葉大学内に新たに設置される全学教育研究組織であるデザイン・リサーチ・インスティテュート(略称:dri)による、イノベーション創出に向けた産学官連携による分野横断的デザイン教育・研究を展開する方針である。【別添参照】

4 UDC すみだ(仮称)の設立に関する検討状況について

(1) 第2回検討会(オンライン)の開催

令和2年11月6日にUDC すみだ設立に向けた検討会をオンラインで実施し、補助金を活用した事業の実施等について意見交換を実施した。

(2) すみだアーバンデザイン・アイデアコンペの開催

千葉大学・情報経営イノベーション専門職大学の学生を対象に、キャンパス周辺エリア(京島・文花地区)を含めて区が抱える諸課題について、都市・建築・ICTを絡めた複合的な課題解決策を募集するコンペを開催する。

- ・ 成果発表会：令和3年2月(予定)
- ・ 開催方法：オンラインで実施



(3) キャンパスコモン設計に関する検討

キャンパスコモン・あずま百樹園の設計にあたっては、千葉大学のランドスケープ学コース・建築学コースの知見を活用しながら進めており、公民学連携の新たなまちづくり構築のための環境分析等を行っている。

今後、地域の住民協議会に設計案を提示し、意見交換を行う予定である。



オンラインによる研究の様子